



TITLE:

和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所 "北浜" でセセリチョウの一種 (チョウ目, セセリチョウ亜科) の塩分補給

AUTHOR(S):

久保田, 信

CITATION:

久保田, 信. 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所 "北浜" でセセリチョウの一種 (チョウ目, セセリチョウ亜科) の塩分補給. KINOKUNI 2012, 82: 15-15

ISSUE DATE:

2012-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/180724>

RIGHT:

© 和歌山昆虫研究会

和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所 “北浜”でセセリチョウの一種 (チョウ目, セセリチョウ亜科)の塩分補給

Supply of salt by *Pelopidas* sp. (Lepidoptera, Hesperinae) on the “Kitahama beach” of the Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University, Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

和歌山県西牟婁郡白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所の通称“北浜”で、2011年の5月と6月に計3頭のモンキアゲハ *Papilio helenus nicconicolens* Butler が、2012年5月と8月に1頭ずつのアオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipoponum* Fruhstorfer が海水を吸水した(久保田, 2011a, 2012a, b)。さらに、その付近に所在する白浜町瀬戸漁港では、2011年8月にセセリチョウ亜科の一種 *Pelopidas* sp. の一頭が海水を吸水した(久保田, 2011b)。今回、またもや京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”で3度、満潮線で1頭ずつのセセリチョウ亜科の一種が吸水をしているところに遭遇したので記録する。2012年9月27日8時35分(著者がその姿に気づかず接近したので飛び去り、何回吸ったかは不明); 2012年10月2日8時5分に少なくとも2回吸水; 2012年10月4日8時頃(著者がその姿に気づかず接近したので飛び去り、何回吸水したのかは不明)。

引用文献

- 久保田 信. 2011a. モンキアゲハ(チョウ目, アゲハチョウ科)の塩分補給. KINOKUNI, (79): 15.
- 久保田 信. 2011b. セセリチョウの一種(チョウ目, セセリチョウ亜科)の塩分補給. KINOKUNI, (80): 15.
- 久保田 信. 2012a. アオスジアゲハ(チョウ目, アゲハチョウ科)の塩分補給. KINOKUNI, (81): 12.
- 久保田 信. 2012b. アオスジアゲハ(チョウ目, アゲハチョウ科)の塩分補給を再度確認. KINOKUNI, (82): 14.

(くはた しん 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)